

危険物新聞

第 5 6 3 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集人 宮 崎 正 也
発行人

大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号

四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

第 4 回 危険物取扱者試験

2月11日(日)、府大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成12年度第4回危険物取扱者試験を平成13年2月11日(日)、堺市の大阪府立大学で次のとおり実施する。

試験日	2月11日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	1月17日(水)、18日(木)、19日(金)
願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL 06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は

- ・午前は9時30分です。
- ・午後は1時です。

[受験資格について]

- 甲種 ① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
- ② 高専・短大及び大学で、化学の授業科目を、15単位以上取得した者。(在学中でも可)

- ③ 乙種免状交付後、2年以上危険物取扱の実務経験者。

乙種 受験資格の制限はありません。

丙種 受験資格の制限はありません。

危険物取扱者試験受験準備講習会

甲種、乙4、丙種について

受験準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について、大阪、堺、吹田など府下8会場で開催の予定である。

なお、大学、高校及び各種学校の学生については、学生割引になるので、申込時に学生証を提示のこと。

土・日コースは電話予約で

土曜コース(定員140名)、日曜コース(定員70名)は、希望者が多数のため、電話予約による受付を行なっている。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で予約されたい。ただし、満席になり次第締切ります。

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する画期的なはしご車



SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車



MURITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



「省力化合格機種」



大型化学車
MC-BC



泡原液搬送車

〒544-8585 大阪市生野区小路東5丁目5番20号
Tel.06-6756-0110 Fax.06-6754-3461
株式会社 **モリタ** 東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

危険物取扱者試験 10月の試験結果

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成12年度第2回危険物取扱者試験を10月22日、近畿大学で実施したが、その結果が11月9日に発表された。

試験区分別の合格率は次のとおりである。

区分	受験者数	合格者数	合格率(%)
甲種	388	191	49.2
乙1	102	86	84.3
乙2	126	96	76.2
乙3	94	83	88.3
乙4	3,738	1,599	42.8
乙5	131	96	73.3
乙6	169	130	76.9
丙種	814	490	60.2

合格者の申請日は11月20~22日

上記試験の合格者に対する免状交付申請手続は下記のとおり、(財)消防試験研究センター大阪府支部の事務所において行なわれる。

交付申請日時	11月20日(月)、21日(火)、22日(水) 9時30分~12時及び13時~16時30分
申請場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22 NSビル9F TEL 06-6941-8430
免状交付(郵送)予定日	申請後、約1ヶ月

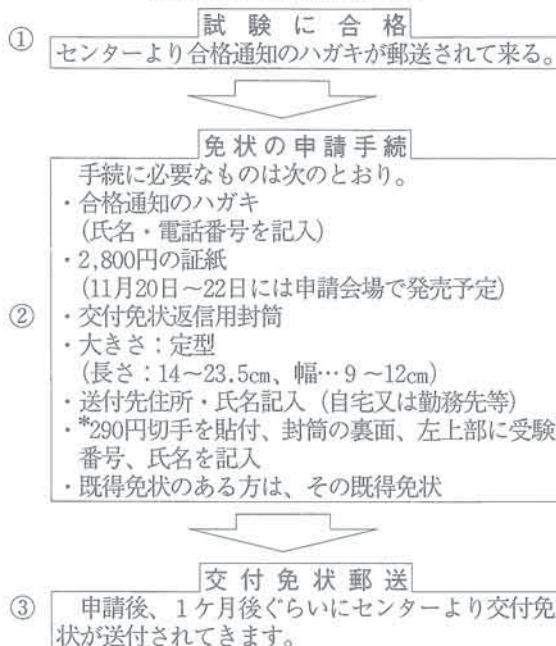
〔交付申請時に必要なもの〕

- 合格の通知書
(交付申請書に氏名・電話番号を記入のこと)
- 大阪府証紙2800円
(11月20日~22日、申請会場で発売予定)
- 免状返送用封筒〔定型:長さ・14~23.5cm、幅・

9~12cmぐらいのもの〕1通に送付先、住所、氏名(自宅又は勤務先等)を記入し、*290円分の切手を貼付のこと。また裏面には、左上部に受験番号、氏名を記入する。

- 既得免状を持っている者は、現在持っている危険物取扱者免状

免状交付手続の流れ



* 合格者が複数のときは一括して送付することができる。その時は、封筒の裏面に人数分の受験番号、氏名を列記すること。また、免状の枚数ごとの送料は下記のとおり。

免状枚数	重さ	切手代(配達記録代含む)	
1~7枚	25gまで	290円	定型
8~14枚	50gまで	300円	
15~28枚	100gまで	400円	定型外
29~70枚	250gまで	480円	
71~140枚	500gまで	600円	
141~280枚	1kgまで	910円	

油濁環境対策を応援します。

多彩な油処理に 軌道・安全・強力に対応する **αGel** 粉末油ゲル化剤 1000/1650 充填シート

早く吸着・ゲル化 回収しやすい

※運輸省型式承認取得済

株式会社 **アルファジャパン** 東京都文京区白山4丁目7番15号 Tel.(03)3947-5371 Fax.(03)3947-5391

特長

- 常温で油・溶剤等を強力ゲル化し処理を容易にします。
- 揮発性溶剤の揮発を抑制するため、引火懸爆を回避できます。
- 油だけを吸着・ゲル化、水に沈まず、取扱を容易にします。
- 有害物質を含まず、無害で人体・生物体系に影響を与えません。
- 粉末タイプであらゆる状態の油に手軽に対応できます。
- αGelを特殊シート状に充填ムダな油垂れがなく油膜取りに最適です。

用途

- 危険物取扱安全対策、環境安全保全、環境汚染の防止。
- 貯蔵場所・送付パイプの亀裂から流出した燃料油・機油・廃油等。
- 工場で機油・床面飛散油等各種油の除去。
- 油水分離槽の浮上油分除去処理及び廃棄処理。
- 海・川・池や地表に不測の油流出事故。

株式会社 **アルファジャパン** 東海販売株式会社 名古屋西区上名古原一丁目1番5号 Tel.(052)532-3045 Fax.(052)532-3039

危険物規制の動向

平成11年中の危険物に係る事故の概要

消防庁危険物規制課

平成11年中(平成11年1月1日～平成11年12月31日)に発生した危険物に係る事故について、各都道府県からの定期報告をもとにとりまとめたので、その概要を紹介する。

1 危険物施設の状況

平成12年3月31日現在における危険物施設の総数は、54万6,043施設(設置許可施設数)であり、許可区分別にみた施設数は図1のとおりである。

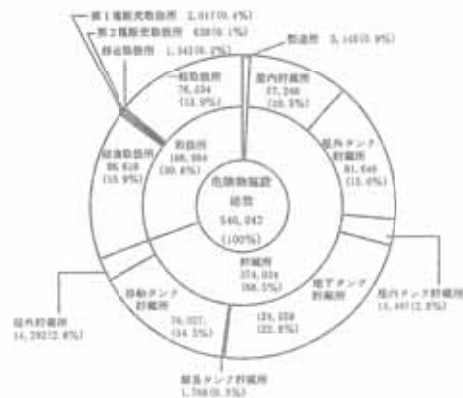


図1 危険物施設の許可区分別構成比

2 危険物施設における事故の状況

平成11年中に発生した危険物施設における事故は、527件(前年541件)となっている。

このうち、火災は162件(同157件)、漏えい事故は269件(同281件)、その他の事故(火災、漏えいを伴わない危険物施設の破損等)は96件(同103件)となっている。

これらによる被害は、火災によるものが、死者4名(同4名)、負傷者45名(同60名)、損害額35億6,966万円(同31億1,747万円)、また漏えい事故によるものが、死者1名(同1名)、負傷者12名(同30名)、損害額5億4,877万円(同4億2,858万円)となっている。

危険物施設における火災及び漏えい事故件数(地震による事故を除く)は、昭和50年代中頃からおおむね緩やかな減少傾向を示していたが、平成6年を境にして増加傾向に転じている。(図2参照)

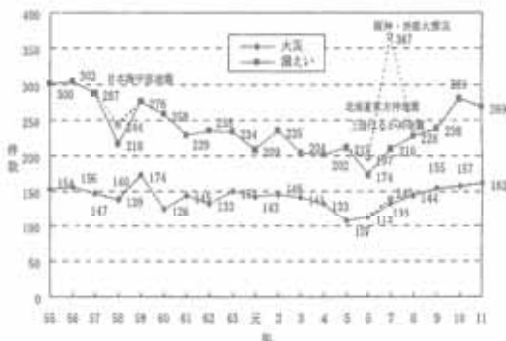


図2 危険物施設における火災・漏えい事故件数の推移

(1) 危険物施設の火災

危険物施設区分別の火災の発生件数は、一般取扱所が79件、給油取扱所が47件、製造所が27件の順となっているが、1万施設あたりの火災の発生件数は、製造所が53.0件で最も高く、次いで一般取扱所の10.4件となっている。(図3参照)

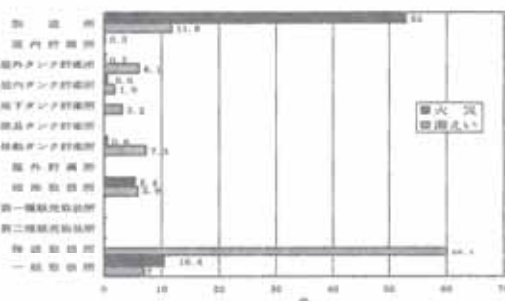


図3 危険物施設1万施設あたりの火災・漏えい事故の発生件数(平成11年中)

また、危険物施設の火災による他への影響の程度についてみると、162件の火災のうち148件(91.4%)が当該危険物施設のみでの火災でとどまり、8件(4.9%)が他の施設まで延焼し、6件(3.7%)が他の施設からの類焼により火災となっている。

(2) 危険物施設の漏えい事故

危険物施設区分別の漏えい事故の発生件数は、移動タンク貯蔵所が57件、一般取扱所が53件、給油取扱所が52件の順となっているが、1万施設あたりの漏えい事故の発生件数は、移送取扱所が60.1件で最も高く、次いで製造所の11.8件となっている。(図3参照)

3 危険物施設の事故の原因

(1) 危険物施設の火災発生原因

危険物施設における火災の発生原因は、人的要因が

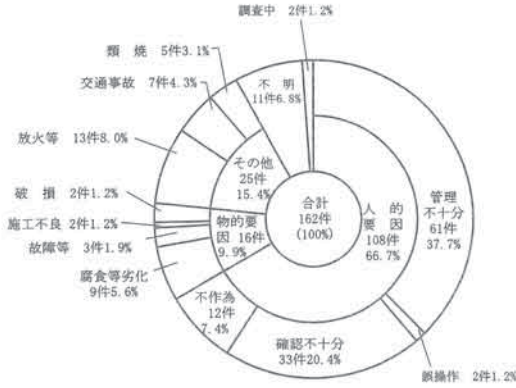


図4 危険物施設における火災発生原因

108件 (66.7%) と最も多くなっている。(図4参照)

主な着火原因は、裸火が31件 (19.1%) で最も多く、次いで高温表面熱20件 (12.3%)、静電気火花19件 (11.7%) となっている。

さらに、出火原因に関係した物質についてみると、162件の火災のうち90件 (55.6%) が危険物が出火原因物質となっており、このほとんどの84件 (93.3%) を第4類の危険物が占めている。危険物の品名別では、第1石油類が40件で最も多く、次いで第3石油類19件、第2石油類12件の順となっている。

(2) 危険物施設の漏えい事故発生原因

危険物施設における漏えい事故の発生原因は、人的要因が116件 (43.1%)、次いで物的要因が111件 (41.3%) となっている。

発生原因を個別にみると、腐食等劣化によるものが

78件 (29.0%) と最も多く、次いで確認不十分によるものが36件 (13.4%)、交通事故によるものが33件 (12.3%) となっている。(図5参照)

なお、腐食等劣化に起因した事故の多いことが、火災と比較した場合の漏えい事故の特徴である。

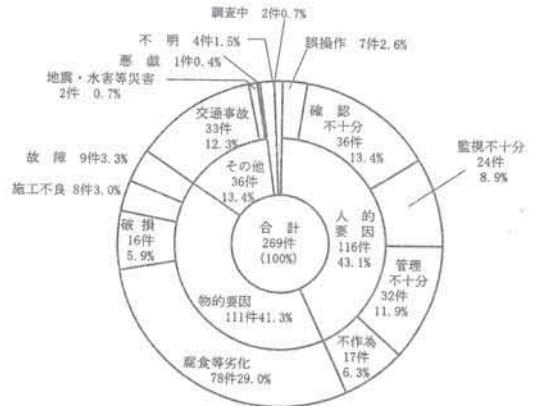



図5 危険物施設における漏えい事故発生原因

4 危険物施設以外の危険物に係る事故

無許可施設においては、火災は14件 (前年11件) 発生し、負傷者3人 (同5人)、損害額は19億292万円 (同2億2,432万円) であった。また、漏えい事故は7件 (同12件) 発生し、死傷者はなく (同0名)、損害額は15万円 (同816万円) となっている。

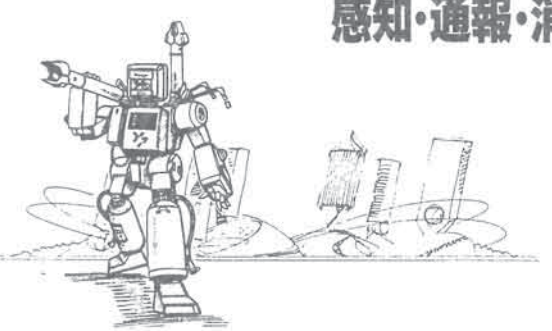
危険物運搬中においては、火災は12件 (同13件) 発生し、負傷者はなく、(同2名)、損害額は1,643万円 (同2,500万円) であった。また、漏えい事故は21件 (同11件) 発生し、負傷者8名 (同1名)、損害額430万円 (同15万円) となっている。

(財)全国危険物安全協会提供



AMATEC
セイワテック & アマテック

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火
・さらに...



防火設備はさまざまな防火機器やシステムによる安全の構築です。統合防炎システム「アマテック」は、感じ、知らせる、消す、これを安全確保のベースとして、目的に沿った防火機器の研究開発をおこなう「アマテック」のシステムを完成させています。

* 防火による危険環境への対応。スローブは、セイワテック & アマテックです。

アマテック株式会社

本社 千537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL (06)6976-0701代 東京本社 千108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL (03)3446-7151代

札幌・仙台・新潟・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・福岡・札幌

危険物Q&A



問

最近、危険物の規制に関する政令等が改正され、甲種防火戸や乙種防火戸の記述がなくなりましたがこれについて解説して下さい。

答

危険物の規制に関する政令等が平成12年6月1日に改正されました。今回の改正は、建築基準法令の改正により、危険物の規制に関する政令等で建築基準法令より引用している用語の定義等が改正されたことに伴うものです。今回の改正の中で用語は以下のように改正されました。

改正前	改正後
甲種防火戸	特定防火設備
甲種防火戸又は乙種防火戸	防火設備
乙種防火戸	

このような改正が行われた背景には、建築基準法令の「性能規定化」があります。建築基準法令改正前の規定では、例えば、鉄製の防火戸は鉄板の厚さにより、「1.5ミリメートル以上」のものは「甲種防火戸」、「0.8ミリメートル以上1.5ミリメートル未満」のものは「乙

種防火戸」と区別され、いわゆる「仕様規定」となっていました。

改訂後の建築基準法令では、この「甲種防火戸」及び「乙種防火戸」が削除され、新たに、「特定防火設備」及び「防火設備」とされています。

特定防火設備は「防火戸、ドレンチャーその他火災を遮る設備であって、通常の火災による加熱が加えられた場合に加熱開始後一時間当該加熱面以外の面に火災を出さないものとして、建設大臣が定めた構造方法を用いるもの又は建設大臣の認定を受けたもの」、防火設備は「防火戸、ドレンチャーその他火災を遮る設備であって、通常の火災による加熱が加えられた場合に加熱開始後二〇分間当該加熱面以外の面に火災を出さないものとして、建設大臣の認定を受けたもの」と規定され、それぞれの設備に必要な性能を示す規定「性能規定」となりました。

この結果、従来の甲種防火戸は特定防火設備に包含され、また、甲種防火戸及び乙種防火戸は防火設備に包含されることとなりました。

なお、危険物施設においては、特定防火設備や防火設備について、全てのものを認めるのは危険物施設の保安上適当ではないので、現在のところ防火戸のみ認められています。

(財)全国危険物安全協会提供

〈参考通達〉

- 「危険物の規制に関する政令等の一部改正について」(平成12年6月9日付け消防危第60号：危険物新聞560号・平成12年8月号に掲載)
- 「危険物規制に係る通知における用語等の読み替えについて」(平成12年6月15日付け消防危第66号)

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市相原田3-5 TEL. (072) 656-1281(F)
東京本社 〒1105-0012 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL. (03) 3434-4841

原点はロスフリーペンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえる企業をめざします。

頑固な夢がある。
そこにある。

財大阪府危険物安全協会 役員改選 理事長に三好治雄氏(堺市高石市)

(財大阪府危険物安全協会では、平成12年9月11日、第69回理事会において役員改選が行なわれ、8年間にわたり理事長をつとめられ多くの功績を残された鴻野氏が勇退され、新理事長に三好氏が選任された。また、13年間副理事長をつとめられた門氏、16年間専務理事をつとめられた松村氏が勇退された。松村氏は協会在職52年間に及びその間、危険物の安全管理並びに災害防止に関する事業を積極的に取組み保安体制の確立に貢献された。

なお松村氏は相談役として、今後ご指導をいただくことになった。今回改選された役員は次のとおり。

■理事長

▷三好治雄 (堺高石)

■副理事長

▷石橋 総太郎(松原) ▷日戸 力(大阪)

■理事

▷河野 陽一(大阪府) ▷南川 侑磁(大阪)
▷辻 敏幹(大阪) ▷油谷 精祐(吹田)
▷阪本 文雄(箕面) ▷岩崎 太郎(東大阪)
▷岡本 利郭(枚方寝屋川) ▷竹谷 正宏(柏羽藤)
▷北野 茂(堺高石) ▷武田 利治(岸和田)

■専務理事

宮崎 正也(事務局)

■監事

▷黒田 悌弘(大阪) ▷児山 芳彦(河内長野)

【退任】

▷鴻野真太郎(理事長:大阪) ▷門 春之(副理事長:池田)
▷小門 啓一(理事:茨木) ▷島田 直彌(理事:東大阪)
▷松村 光惟(専務理事:事務局)

保安講習について

1. 受講手続きの要領について

① 予約申込書(所定の往復ハガキ:府下消防本部予防課又は消防署予防係で配布、ただし出張所には置いていないことがあります。)に、希望する会場等を記入して郵送のこと。

ただし、1事業所において、受講者が複数の場合は、封筒で一括して送付。その時は、返信用角封筒(切手貼付)を同封のこと。

② 後日、受講申請日、申請場所、講習日等を指定して、返信ハガキ(申請書)で、通知。(通知は、おおむね受講日の3週間くらい前に郵送予定)

③ 指定された申請日に、申請場所で、申請書(返信ハガキ裏面)に受講手数料(4,700円の大阪府証紙:申請場所で発売)を貼付して申請のこと。

申請書手続きを終了すると、受講票及びテキストを交付。

④ 申請書受付後は、いかなる理由があっても手数料、提出書類は一切返却できない。

2. 受講について

① 講習当日、本人が受講票・テキスト・筆記用具及び免状を持参し、所定の講習を受講のこと。

- ② 受講終了者には、免状に受講済印を押印し交付。
③ 講習時間は3時間。(開講時間は、講習会場により若干異なる。)

【問合せ先】

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 (四ツ橋ビル)
(財大阪府危険物安全協会 TEL06-6531-9717)

平成12年度 保安講習日程表 (12年11月下旬~13年2月)

◇一般の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
50	11月27日(月)午後	大東市消防本部	JR・片町線・住ノ道駅
51	11月28日(火)午後	富田林市民会館	近鉄・南大阪線・喜志駅
52	11月29日(水)午後	吹田メシアター	阪急・千里線・吹田駅
53	11月30日(木)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
54	12月4日(月)午後	大阪府商工会館	〃
55	2月8日(木)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
56	2月9日(金)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
57	2月14日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
58	2月15日(木)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
59	2月16日(金)午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
60	2月19日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅

注1. 保安講習の講義時間は3時間です。

(開講時間は、講習会場によって若干異なります。)

注2. 会場欄中*印の会場は駐車可。(堺市民会館は有料。)

丙種危険物取扱者 の愛称募集について

日常生活で使用されている、ガソリン、灯油、てんぷら油などの危険物から生じる火災の防止には、危険物の性質や取扱上の注意点、燃焼の特徴、消火方法などの理解が重要です。

そこで、防災活動の担い手である消防団員、婦人防火クラブ員をはじめ、多くの人々にこれらの知識の習得とその証明として甲種・乙種1～6類及び丙種危険物取扱者免状の資格制度がありますが、なかでも試験が比較的容易な丙種危険物取扱者免状の取得を促し、危険物施設だけでなく、一般家庭等の火災予防を推進していきます。

このため、「丙種危険物取扱者」について、親しみの持てる愛称を募集し、広報等に活用して、丙種危険物取扱者を身近な資格として周知していくこととしました。

募集要綱

応募方法

✉ 郵送又はEメールによるものとします。

☎ 官製はがき1枚又はEメール1通につき、愛称を1点とします。

郵便番号、住所、氏名(ふりがなつき)、年齢、職業、電話番号を明記して下さい。

応募の愛称は未発表のものに限ります。

*官製はがき以外の郵送応募や記入事項に不備がある場合は、無効とします。

応募資格

特に制限はありません。

締切

平成12年12月12日必着

賞

最優秀作 1名 消防庁長官賞と副賞20万円

優秀作 1名 財団法人消防試験研究センター理事長賞と副賞10万円

優良作 若干名 記念品

*入選発表は、入選者に通知します。

なお、最優秀作及び優秀作の作品(各1点)に複数の人が該当した場合は、抽選により決定します。

抽選にもれた方には、記念品を差し上げます。

また、入選作品の使用等に関する権利は、主催者に帰属します。

あて先

〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号第一麻布台ビル4階

財団法人消防試験研究センター 丙種危険物取扱者愛称募集係

TEL 03-3505-2750

Eメールによる応募要領は、財団法人消防試験研究センターホームページ (<http://www.shoubo-shiken.or.jp>) をご覧下さい。

その他

最優秀作の愛称は、丙種危険物取扱者に係るポスター等に活用し、資格の周知を図っていく予定です。

主催・財団法人消防試験研究センター 後援・自治省消防庁

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計

遠隔式警報ユニット液面計

各種液体タンク用液面計

フロートスイッチ・微圧スイッチ

タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467(代表)

株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番9号 工技研ビル ☎6358-9467

危険物取扱者準備講習 ご案内

平成12年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種 別	講 習 日	時 間	会 場
甲 種	1月22日(月)、1月23日(火)、1月29日(月)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄 本町駅17号出口スグ)
乙 種 4 類	1 期	1月23日(火)、1月24日(水)	大阪府商工会館
	2 期	2月1日(木)、2月2日(金)	大阪府商工会館
	3 期	1月29日(月)、1月30日(火)	堺市市民会館 (南海高野線 堺東駅ヨリ8分)
	4 期	1月29日(月)、1月30日(火)	吹田勤労者会館 (JR 吹田駅ヨリ3分)
	土曜コース	1月27日(土)、2月3日(土)	大阪府商工会館
	日曜コース	1月21日(日)、1月28日(日)	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線 本町駅ヨリ5分)
丙 種	2月6日(火)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注)甲種は3日間で、乙種(1期～4期)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内にお願います。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の割当数を決めていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。
- ④ 下記受付場所と受付日時で申込が出来ないときは当協会TEL06-6531-9717へお問合せ下さい。

受 付 場 所		日 時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協会	1月10日(水) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口・門真防火協会	1月10日(水) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会	1月11日(木) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅より12分)	茨木市災害予防協会	1月11日(木) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅ヨリ西へ10分)	岸和田市火災予防協会	1月12日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	1月12日(金) 午後2:00～4:00
吹田市消防本部内 (JR・阪急吹田駅ヨリ約14分)	吹田市危険物安全協会	1月15日(月) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	1月16日(火) 2日間とも
		1月17日(水) 午前9:30～午後4:30 (ただし、正午から40分間昼休み)

3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員70名)、土曜コース(定員140名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会 費

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成12年度用改訂版を使用)

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	16,800円	18,900円
乙 種 4 類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙 種	6,300円	7,350円

(注)1. 消費税込の料金です。

2. 大学、高校、各種学校の学生については、学生割引として会費は会員扱いとします。(申込時に学生証を提示すること)